



計算の順番にヒミツあり！

- 3年生、まとまりをつくって考える算数 -

5月26日(火)。

3年生の算数では、3つの数のたし算について、計算の仕方を工夫する学習が行われました。

子どもたちは、文章問題を読み、「何を聞かれているのか」を確認しながら、式を立て、どの順番で計算するとよいかを考えました。

今回はまさに、答えを出すだけでなく、「100や200のまとまりをつくると計算しやすい」という考え方に気付く学びでした。

写真は、友達の考えを聞きながら、自分の考えと比べている場面です。手を挙げる姿、ノートに向かう姿、友達の説明を聞く姿から、子どもたちが一つ一つ考えながら学びを進めていることが伝わってきます。

算数の時間を通して、児童は「できた」だけでなく、「どう考えたか」を大切にしながら学んでいます。こうした日々の積み重ねが、自分で考え、学びに向かう力につながっていきます。

